

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名 放課後等デイサービス プレミアム中尾

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	部屋の広さだけではなく、部屋の数も多いので、用途別に使い分けています。	定員に対する規定のスペースを十分に満たしている。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	児童発達支援管理責任者や児童指導員・保育士等の配置基準も満たしている。	ご利用者様に対して、基準値の以上の職員を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	66%	34%	階段やトイレ等、手すり設置している。	身体障がい児の受け入れは行っていない。完全なバリアフリー化ではない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	全員で参加して、理解を深め、共有しています。	日々のミーティングにて、個別支援計画に基づく目標の設定を行い、支援記録に記入して、振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	必要時、保護者様が連絡帳にコメントを書いて日々対応しております。	定期的にアンケートを実施している。又、保護者対応中に意見や意向の把握に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	同グループの各事業所や過去分を閲覧できるようにしている。	毎年、会社のホームページに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	外部だけではなく、定期的に内部監査を行い、徹底している。	第三者による監査を定期的に行っている。又、デイチェックを行い、業務改善に努めている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	マンネリ化しないように常に新しい情報を取り入れ共有していく。	年間スケジュールに基づく、内部研修や避難訓練を行っている。又、新人の職員には、オリエンテーションや外部の研修を受けていただいている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	ミーティングにて、議題に挙げて、議事録として記録に残している。	課題分析や保護者様のニーズ、基本情報を基にアセスメントを行い、計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	成長やニーズに合わせる。	情報が細分化された、見て解りやすいアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	都度、改善して、成果に繋げている。	毎月の活動内容は、個々に合わせた目標をチームで設定して共有して作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	一部、意味を持って固定化された活動もあります。	季節に合わせた行事や活動を取り入れ、同じ活動でも内容を少しずつ変えたり、目標を高めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	個々に合わせた、スキルやプログラムを用意して、個別指導を行うこともあります。	支援を行う時間に合わせて、一日の流れを決め、課題達成出来るようにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	その時の子どもの状況や様子に応じて、臨機応変に内容を変更して対応をしている。	個別・集団活動だけでなく、静と動の動きを取り入れ、内容や意味を連動させて、次に繋がるように作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	土日祝は、前日に纏めて打ち合わせを行っている。	毎朝必ずミーティングを行い、前日の振り返りや申し送り事項の確認、スケジュール割や担当決めを行い、細かい打ち合わせを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	その日の内に振り返りが難しい場合は、情報として記録に残しています。	その日の振り返りや申し送り事項は、必ず管理者へ報告して、管理者から全体へ情報共有を行っています。再度、翌日のミーティングにて共有したり、課題点などは都度検討しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	食事の提供方法や摂取量、排泄関係等、記録とは別に口頭で共有しています。	経過記録、支援記録等、毎日記録を行い、それを基に検証を行い、改善に努めています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	目標に対して、どのくらい達成したのか、習慣化されているのか等、細かく判定している。	6ヶ月毎にモニタリングを行い、その評価に合わせて見直し、情報修正を行い、計画の作成を行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	感染症対策によって野外活動を行っていない時期がある。	ガイドラインの総則を基に検討して、身体を動かす活動や、机上活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	代表者が多くの人の意見、視点を共有して参加する。	主に児童発達支援管理責任者、又はその児童について長年関わっている、精通した者が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	83%	17%	学校での様子や保護者からの引継ぎ等を行っています。	ネットワーク会議や必要な場合にはケース会議に出席しています。予約状況を学校に提出して、下校をスムーズに行えるようにしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	66%	34%	契約の際に、アレルギー等の有無の確認を行い、主治医からの対処方法、連絡の体制を整えている。	医療的ケアが必要な方はいらっしゃらないが、近くの病院を当事業所の指定医院としている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	基本情報となるアセスメントシートを活用させて載っている。	相談支援員や保護者様と共有をされており、必要時担当者会議で共有の場を設けている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	特性や御家族のニーズを把握できるようにお伝えしている。	保護者の同意のもと、情報の提供、担当者会議を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	66%	34%	新規の職員は、研修を受講するようにしています。	相談支援員と連携して情報共有を行っている。又、必要時研修を受けられるように体制を整えている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%	0%	今後の状況に合わせて検討していきます。	感染症対策の為、現在交流はありません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	17%	83%	今後の状況に合わせて検討していきます。	感染症対策の為、現在交流はありません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	成長や将来を見据えた課題点を定期的にお話するようにしています。	その日の様子や変化などを送迎時にお伝えして、共通理解を持っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	83%	17%	デイサービスでの様子とご家庭での様子を踏まえて取り組んでいます。	ご家族の意向に沿って、取り組み易い内容をお伝えしたり、共通した言葉を使用するようにしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	何か変更があった際には、都度お伝えしています。	契約時に必ず説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者様からお困りごとを話せる関係性を作る努力をしております。	必要に応じミーティング等で検討を行い、助言や提案を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	感染症の状況を見て行っています。	保護者会を開催して、他校の方でも顔合わせを行うことが出来ています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情相談窓口を設けており、契約時にご案内をしております。	何かあれば管理者携帯に直ぐ連絡できるように周知しており、状況に合わせて改善に務め、行動・実践しております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	日々細かな内容などは、送迎時にお伝えしています。	毎月、新聞・活動・献立表を配布しております。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	事務所にも施錠して徹底しております。	鍵付きのキャビネットに保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	一人ひとりに合った意思疎通を図っている。簡単に短い言葉やジェスチャー、写真等を用いている。	今後は非言語のコミュニケーションの強化で、手話を実践的に組み込んで行く。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	情勢によって検討をしていきたい。	地域の方との交流はない。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	マニュアルは策定しており、年間スケジュールに則って定期的に内部研修を行っている。	新聞等で発信しているが十分な周知までに至っていない。外部から講習していただける方を招待することを検討しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年間スケジュールを作成して取り組んでいる。	毎月訓練や研修を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	年間スケジュールだけではなく、ニュース等で事件・事故があった際に研修を行っている。	毎月訓練や研修を行っている。又、職員に対して毎月面談を行い、風通しの良い職場環境を作れるように努力している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	83%	17%	保護者様とお話しをして、ご利用者様の特性や心身の状態の把握に努めている。	契約時等に説明を行い、放課後等デイサービス計画に記載している。命などをを守るための行動を除くと、基本的に身体拘束は行っていません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	契約時等に確認を必ず行い、提供しない、混ざらないを徹底しています。	医師・保護者様の指示のもと、対応をしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	83%	17%	どんなに小さなことでも記載して、改善に努めている。	都度作成して、ミーティングにて検討会を行い、情報共有や対策を行っている。